



# 名古屋いのちの電話

## 尊いのは足の裏である

1

尊いのは  
頭でなく  
手でなく  
足の裏である

一生人知られず  
一生涯たない処と接し  
黙々として  
その努めを果していく  
足の裏が教えるもの

しんみんよ  
足の裏的な仕事をし  
足の裏的な人間になれ

2

頭から  
光が出る  
まだまだだめ  
額から  
光が出る  
まだまだいかん

足の裏から  
光が出る  
そのような方こそ  
本当に偉い人である

坂村真民全詩集第三巻より



## 名古屋いのちの電話に思いを寄せて

財団法人勤労センター憩の家理事 豊田 寿子

名古屋いのちの電話が1985年7月1日に開局し、満3年を迎えられましたこと、いのちの電話に携われてこられた皆様方の大変な努力に対し敬意を表します。いのちの電話というだけに生半可な気持ちで取組めるものでなく、それをボランティア・システムでというのですから、さぞかしご苦労多かったこととお察しいたしております。

私も20数年前からボランティアの仲間になっていろいろの問題に出合っていますので少しは理解できるように思います。ボランティア活動は他者とのかわりかかわりで始まるのが多いのですが、他者の心を理解することのなんとむづかしいものであるか……

私共がはじめたボランティア活動は最初、若年勤労青少年、いわゆる“金の卵”といわれた中学卒業で遠く故郷を離れて社会で働き出した若者達の健全な成長を願い、母親がわりをしましょうというのでした。ボランティアの婦人達は殆ど自分の子供を育てた体験があり、子供と同じような年齢の若者達の母さんがわりが出来ると最初、気楽に考えていました。

しかし、実際に若者に接して相手の本音を知ることのむづかしさ、本音がわからなければ適確な交流・援助はできません。ここではじめて自分達の至らなさ、無知無能をはっきり知らされ、それは頭をガンとなぐられた思いでした。しかし、なぐられっぱなしではお話になりません。それではまことに役立つボランティア活動をするためにどうしたらいいか。知らないことは勉強しなくてはということになり、カウンセリングという勉強があることを教えられ、臨床心理としてのカウンセリングの勉強に取組むようになりました。自分のフィルターを通さずに正し

く相手を理解することの困難さ、理解と肯定の違いなど、初歩的な勉強を重ねているうち、人間の尊厳、平等感、心の自由に気がつき、積極的感情から意欲が旺盛に発動し、創造的に機能するなど少しづつわかかってまいりました。今までの体験に照らし合わせてみて、あの時はこうだった、次の時、あんな会話になってしまったから駄目だった、と不思議なように解説できる場面も出てきて、もっと早く自分の子供達を育てる時にこの勉強をしていたら子供達も抵抗が少なかったでしょうにとボランティアの中年婆さん達、顔を見合わせて残念がったものでした。



このことから察してみると、日常生活で私共は気づかずに人間の感情面を軽く見ていることが多いのではないかと思います。学校教育も知的取得にばかり力をいれ、精神を育てることを大切にしないばかりでなく、管理に力が入り過ぎて子供の、生徒の心を傷つけていることはないでしょうか。そんな思いで世間をながめてみると、なんと他者の心の中へ泥足で踏み込んだり、傷つけたり、侮辱したり、それを気づかなかつたり、悪いことと思わなかった

りしていることが多いのに驚かされます。デリケートな神経を持った人達はどんなにか傷ついているのではないのでしょうか。だからこそ“いのちの電話”が大切な役目を果たすのだと思います。

名古屋いのちの電話では専門の立派な先生方が、ボランティアの皆さんをしっかり教育、訓練なさいますし、ボランティアの方々にも真剣に勉強され、電話のよき“きき手”として精進されていますこと、何よりうれしいこととございます。目には見えませんが皆様の力できっと多くの人々の心を癒し、いのちを守り、励ましをあたえていることと信じています。

しかし、まだまだいのちの電話を知らない人達は多いと思います。残念です。どうしたら知ってもらえるでしょうか。そしてまた、いのちの電話を守り育てるための応援者を増やすために、かわりを持った私共は、何とかしなくては、との思いに駆られるのです。



1960年に私共のボランティア・グループはアメリカへボランティア研修旅行に行き、ロスアンゼルス“ピバリー・グレン病院”でホット・ライン・システムのカウンセラーに話を聞きました。

25年前、ロスアンゼルスの子供病院で虐待されている子供のためにはじまったホット・ライン・システムがあつという間に全米中に広がったとのこと。ここでもやはり専門家であれ、ボランティアであれ、大へんきびしい訓練を受けているということでした。初歩的なボランティアがまず電話を受け、内容によってはすぐにもっと体験多い人に渡し、必要なればしっかりした専門家にバトンタッチできるのだということでした。印象的だったのは、私共に話をして下さったカウンセラーが世の中に役立つとても良いお仕事をしているのですというように自信を持って明るい笑顔で熱心に話されたことでした。

名古屋いのちの電話を受け持たれるボランティアの皆様、どうぞ自信を持ってよきお仕事に取り組んでくださいませ。悩める人々の役に立つばかりでなく、ボランティアの皆様ご自身の豊かさが培われていくやり甲斐あるお仕事なのですから。

(名古屋いのちの電話理事)



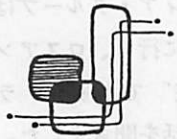
## 賛助会員募集中！

「いのちの電話」の運営資金は、その大部分を賛助会費と寄付金でまかなっています。皆さまのご協力をお願いいたします。

〈郵便振替〉 名古屋 1-53758

〈銀行振込〉 東海銀行 大津町支店(普通) 477029

口座名義：名古屋いのちの電話



# グラフでみる3年間のあゆみ

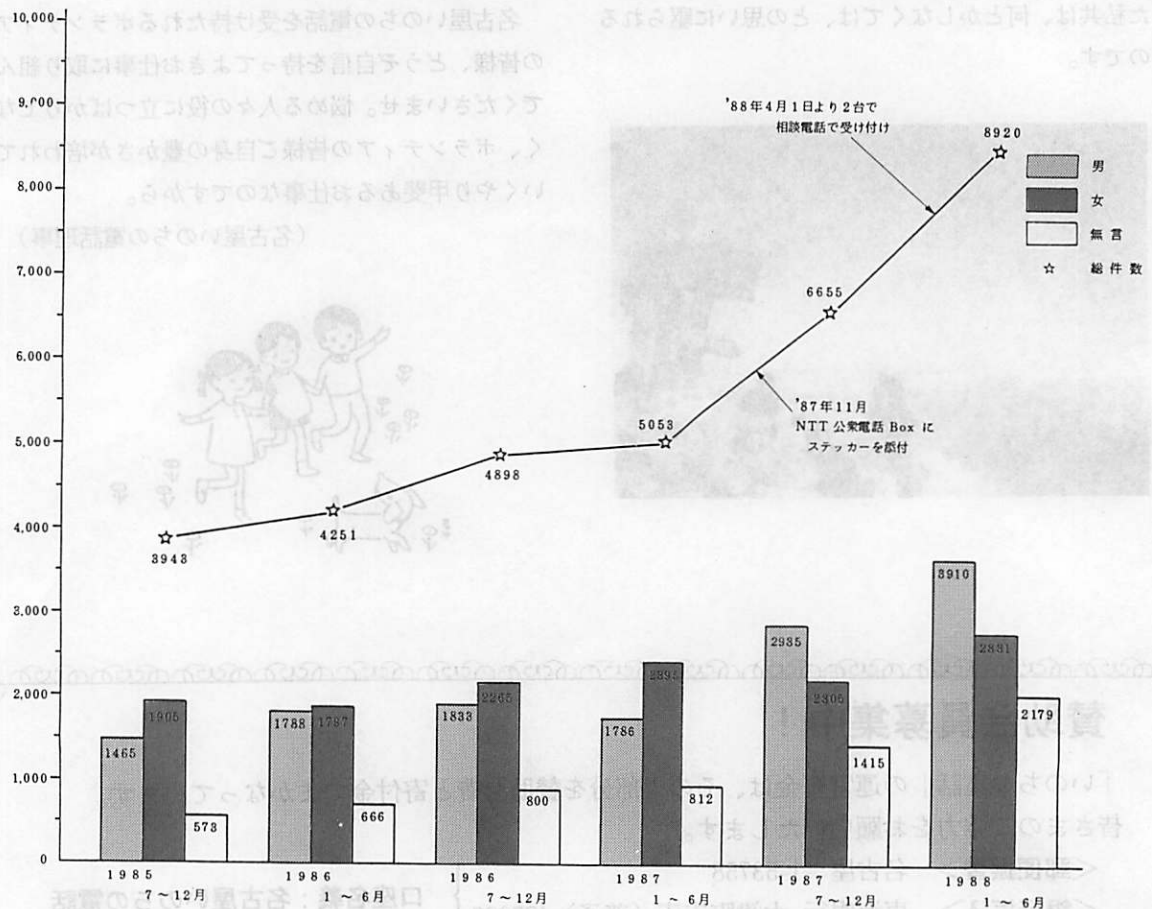
1985年7月～1988年6月

## ★増加する受信件数

1985年7月1日に開局した名古屋いのちの電話は、本年7月で満3年を迎えることができました。最初の半年は4000件に満たなかった総受信件数も1988年1月から6月の半年には8920件と2,26倍に増加しました。

この3年間の総受信件数は、32474件となりました。これは名古屋いのちの電話が着実に地域に根ざしつつあることを示しています。

## 受信件数の推移 1985.7～1988.6



# ★さまざまな相談内容

名古屋いのちの電話には男性の場合は、性の問題、人生、男女問題、夫婦問題などについての相談が寄せられています。また、「相談外」という分類には、相談員が受け止めきれないでいるうちに切れてしまうような電話が数多く含まれています。

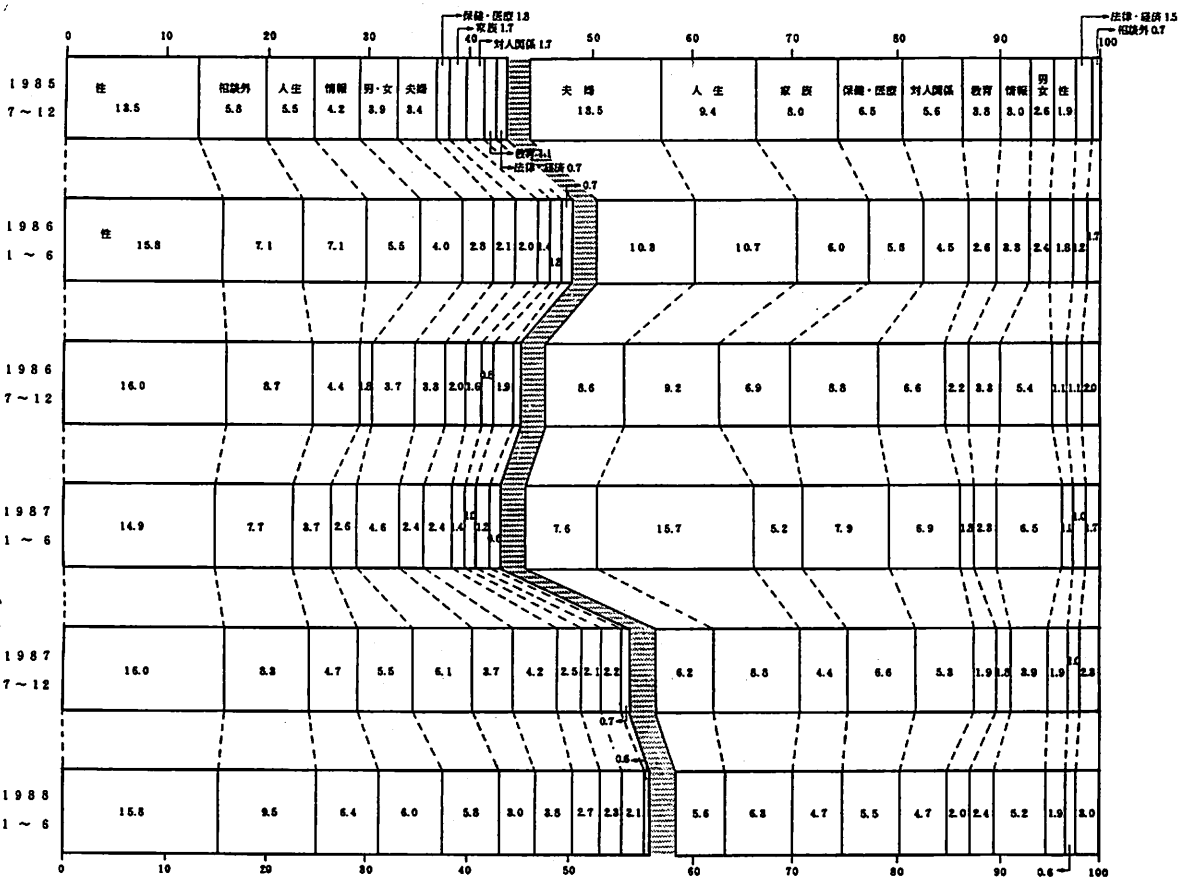
女性の場合は、夫婦、人生、家族、保健医療、対人関係でかなりの割合を示しています。あらゆる問題で女性が悩んでいる現実を示しているといえましょう。



問題別・男女比率の推移 1985. 7 ~ 1988. 6

= 男性 =

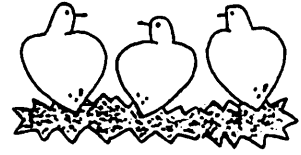
= 女性 =



(数字は%)

ひとりぼっちで悩まずに……052 ( 9 7 1 ) 4 3 4 3

# ぼらんてあひるば



## 石の上にも三年…… ボランティア活動も三年……

「どこへお出かけ?」「何しているの?」などと近所の方から問われても「ええ、ちょっと。」とにこやかに答え、養母には「読書会」と嘘を言って往復3時間かけて通い続けたいのちの電話。いたずら電話やセックス電話ばかりの時は、本当にうんざり。でも細々と続けている間に、どんな形にしる電話をかけてくる人の気持ちが少しは理解できるようになり、家族に対する見方も寛大になったような気がする。それに身銭を切って電話に関わっている多くの友の存在や継続研修などの学習会が、私には心強い身方である。

K. S.

振り返ってまず思うのは、この3年間無事にボランティアを継続できたという喜びです。家族の協力と健康、仕事の繰り合わせ、ボランティア仲間の助けあいなどすべての条件が整って続けることができたことを感謝しています。活動を通して思うことは、難儀を生み出すも我が心・解決するのも我が心・されど容易に解決し得ない難儀な心・病める心を人間は皆持っていて、何かに支えや安心を求めているんだなぁということです。私自身も確かな支えを持って、信念のある本当のやさしさを持ちたい。

M. F.

あなたこの頃浮気でもしているのと違う?普通の主婦は夜は家にいるものよ……とAさん。外出の理由も行き先も言わず、いえ言えず、方便も下手な私は、「ちょっと用事がある……」と言葉を濁す。相手の憶測は更に広がっていく。好奇の目に耐えながら(半分は楽しみながら)訓練に電話担当にとよくぞまゝここまで。これも悪友達のお陰である。なお、いつまでたっても今だに別れない我ら夫婦。すっかり期待を裏切りどうやら、噂の対象として失格してしまったようだ。

K. S.

開局3年と聞いて、この年月が余りに早く過ぎてしまったように思う。電話を受け始めたときは専業主婦。その後仕事を持ちながら夜の電話を受ける。そして、また今主婦に戻り電話を受けてみていろいろなことを考えさせられている。時間に余裕がないときには心にも余裕がなくなってしまう。私を支えてくれる多くの仲間がいなかったら、これまで続けてこられたか自信がない。何年も仕事とボランティア活動を両立させてこられた方々に頭が下がる。

いま再び時間的に余裕が出来たのに自分の中に燃える何かが消えつつある。それは何故だろう?

T. T.



# ご援助ありがとうございます

1988年5月1日より9月30日までに下記の方々から暖かいご支援をいただきました。一同深く感謝いたしますと共に報告申し上げます。(順不同・敬称略)

名古屋いのちの電話  
理事長 相馬信夫  
財務委員会

## 個人会員

### 賛助会員(A)

榎本 幸卓 細井 郁英 大和 橋田 堀藤 本瀬 原名 高豊 中加 木村 菅 匿	幸卓 勝子 二助 助 男子 郁英 仁慎 精之文 美智	大西 会植 豊宇 加柳 古徳	朔村 沢田 田美 藤原 橋留	寿 俊 寿保 順佳 義	昭清 三望子 子枝 之翠	田岩 加梨 牧星 高西 藤	中田 藤本 岡島 田沢 沢井	健 紘 順将 恒和 邦敏 信英	郎 一 代夫 空彦 夫正 子	伊大 恒 久 水長 西藤 中木	藤橋 川保 谷岡 原塚 川島	幸恒 新濤 利新 幸正	子子 市子 魏真 一修 子司	藤川 豊植 三宮 石守 寺加	吉村 田松 村木 黒田 西藤	康敏 江従 と邦 豊て 一迪	司夫 美爾 子蔵 重る 雄春	水豊 林飯 高堀 伊志 福育	野田 晃 尾本 浦藤 村田 木	由理 千春 てる子 由一 夫 男子	吉恵 千春 てる子 由一 夫 男子
--	-------------------------------	----------------	----------------	-------------	--------------	---------------	----------------	-----------------	----------------	-----------------	----------------	-------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	-----------------	-------------------	-------------------

聖盤修道院 雪の聖母幼稚園 蟹江カトリック教会 川名山聖盤修道院 宗教法人永沢寺代表役員岡島博司  
マツヤ商事松永滋朗 宗教法人カトリック神言修道会代表役員石橋泰助

### 賛助会員(B)

大山 宇佐 柏津 石長 加河 白鎌 川飯 市相 匿	塚田 久美 谷田 垣津 藤野 田倉 本塚 原川 名	博久 夏靖 とみ 弘 里 登喜 治勝 昭比 呂 豊 義	一兼 岩八 三平 伊小 成本 杉間 恒加 高	圓田 田木 里田 藤幡 田田 東瀬 川藤 橋	俊智 邦一 和節 静美 良健 優喜 義倫 一	郎彦 子江 子子 子理 子治 子郎 朗子 美	足萩 児江 西山 白河 神横 松若 石松 森	立原 玉口 村室 井津 田地 村山 田山 谷	文孝 光 秋泰 百輝 欣睦 義昌	彦子 雄勇 穰江 子合 夫也 子恵 人司 幸	三加 木神 佐近 山金 新三 宵八 金小 津	上藤 村尾 藤藤 藤田 森井 輪山 木子 橋村 板	茂子 知子 子親 恵イ 子子 玄世 子行 充	倫 初 あ 国章 夕美 淳 光 紀 秀 俊	水直 金尾 初 中 小岩 太杉 前桑 森育 岸	谷井 子 関井 野室 野田 山田 山部 木	秀 紀 静英 悦美 奈 敦 舜 栄 敦 晓 明 正	器盤 子枝 夫美 子翠 子一 子子 子子 子倫	稻村 菊今 和河 浅坂 名宮 南石 橋石 前	村瀬 田井 久野 井本 波内 端垣 本川 田	村瀬 田井 久野 井本 波内 端垣 本川 田	豊子 子子 子子 子信 子夫 子三 子恵 子
---------------------------	---------------------------	-----------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------	------------------------	------------------------	---------------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------	-----------------------	---------------------------	-------------------------	------------------------	------------------------	------------------------	------------------------

日本キリスト教団鳴海教会婦人会 苗代ボランティア 法光寺島津通 日本福音ルーテル希望教会  
株式会社ワーロン

### 賛助会員(C)

小玉 白山 小足 片波 岡山 山水 飯掘 熊鈴 西	林田 井本 島立 山辺 崎下 野塚 谷木 島	登喜 正 普 初 克 悦 里 恒 静 重 五 行 恵 悦	鬼加 中清 高澄 土宮 小大 増矢 大河 志吉	頭藤 島水 木川 方田 谷竹 田田 隅原 方川	明み 紀健 素和 つ喜 充 敦 新 篤 美 博 田 鶴 っ	枝き 子治 江子 子子 子子 子次 二里 子子 げ	森田 浜工 榎早 秋岡 足石 渡矢 藤望 西 鈴	中野 藤尾 川田 崎立 田辺 吹田 月野 木	子枝 子子 一り 江子 子子 子俊 代男 雄英 ヨ	平松 勝 案 中 森 奈 俊 長 湯 浅 山 滑 葛 西 大	松本 野来 谷下 良藤 坂田 見内 水谷 野 島	光 和 萬 垣 茂 節 豊 方 亮 健 信 三 緒 節	池町 田吉 岩伊 浦佐 久松 川鳥 深山 山高 小 笠	田田 中永 本藤 下間 下瀬 居山 田本 橋原	子哉 子子 子子 子子 子子 子美 和子 子子 一 香	河野 太真 佐小 西中 三山 松西 伊田 岩武	田村 田山 藤林 村下 輪田 浦沢 藤中 佐岡	を子 恵彌 一 男子 子子 子理 夫き 子志 子	い葉 美光 辰邦 良景 淑真 三み 久あ 敏智
---------------------------	------------------------	------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------------	---------------------------	--------------------------	------------------------	---------------------------	--------------------------------	--------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-------------------------	-----------------------------	-------------------------	-------------------------	--------------------------	-------------------------

大岩 凱子 中野 公子 小川 裕美子  
 ドミニコ会聖ヨゼフ修道院 瀬戸永泉教会  
 日本キリスト教団桃山教会婦人会  
 日本キリスト教団春日井教会婦人会

法人会員

西福寺愛知暢磨 愛知車輛工業株式会社  
 株式会社フジキカイ 清田産業株式会社  
 理研産業株式会社 国分設計国分孝雄  
 株式会社代倫電業原忠明 井上護謨商事株式会社

寄付(個人)

内川 正邦	楠 忠男	長岡 利貞
榎本 久美江	中村 三郎	池田 妙子
太田 喜久雄	中堀 仁四郎	土田クリスティナ
水山 進吾	中中 文子	林 郁富美子
梶原 寿一	稲井 森久子	林 千波
飯島 昇一	川口 つや子	中川 鋪子
高木 案江	生川 和子	加藤 晋介
藤吉 康司	梅沢 晴子	中川 尾初
森 昭子	内柱 綾子	神相 木村
佐々木 さと子	竹内 本野	相木 稲垣
高嶋 剛三郎	山本 澄愛	相木 稲垣
藤村 光一	水野 愛	小島 ミハナ
加藤 みゆき	榎 尾	

寄付(団体)

在日大韓キリスト教名古屋教会婦人会  
 日本同盟キリスト教団名古屋福音伝道教会富沢誠治  
 聖心会本部修道院 雪の聖母幼稚園  
 第4期相談員有志 LCLの会  
 名古屋鉄道株式会社  
 小牧カトリック教会  
 カトリック善棚教会  
 東知多ロータリークラブ  
 知立カトリック教会  
 聖ドミニコの宣教修道女会岡崎修道院  
 名古屋キリスト教協議会  
 株式会社東海銀行  
 株式会社松坂屋  
 白百合の会代表三上正子

助成金

中日新聞社会事業団	500,000円
社会福祉法人東海テレビ福祉文化事業団	200,000円
名古屋ロータリークラブ	300,000円

名古屋いのちの電話日誌

5月16日(月) 理事会・世話人会  
 23日(月) 訓練委員会  
 26日(木) 財務委員会  
 30日(月) 運営委員会  
 6月6日(月) 近畿・東海ブロック訓練担当者会議(於関西)  
 13日(月) 世話人会  
 17日(金) 日本いのちの電話連盟理事会(於北九州)  
 18日(土) 運営委員会  
 20日(月) 訓練委員会・世話人会  
 27日(月) 財務委員会  
 29日(火) ボランティア・フォーラム  
 7月2日(土) 第4期養成講座基礎訓練一泊研修  
 9日(土) 訓練委員会  
 10日(日) 運営委員会  
 15日(金) 財務委員会・世話人会  
 18日(月) 運営委員会  
 25日(月) 世話人会  
 8月1日(月) 運営委員会  
 22日(月) 運営委員会  
 29日(月) 財務委員会  
 9月2日(金) 一泊研修  
 10日(土) 11日(日) 16日(金) 全国広報担当者会議(於大阪)  
 17日(土) 理事会・運営委員会・訓練委員会  
 19日(月) 世話人会  
 26日(月)

【MEMO】

予定より発行が遅れましたが、やっと12号をお届けすることができました。  
 冷夏でお日様の恵みが少なく、野菜の高騰に頭を悩ませた主婦(夫)たち。  
 ベン・ジョンソンの薬物使用でいろいろなことを考えさせられたソウル・オリンピック。  
 中日ドラゴンズのリーグ優勝で湧きたった名古屋の街。  
 今年もあと数える程になりました。北風に負けず過ごします。



名古屋いのちの電話

〒451-91 名古屋東郵便局私書箱 第257号  
 事務局 ☎052-971-5181 郵便振替口座 名古屋 1-53758

1988年11月1日 発行  
 発行人 相馬 信夫  
 編集人 広報委員会